

2 平成20年度 主な事業

平成20年度は、4つの目標達成のため、次の主要事業・施策に取り組みます。

『自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）』

【平成20年度の完成・供用、新規事業】

（補助事業）

○ 一般国道507号 八重瀬道路

一般国道507号八重瀬町の中央部において、地域の安心・安全の向上、南部地域における南北の脆弱な幹線道路ネットワークの強化、地場産業や観光産業等の活性のため、「一般国道507号八重瀬道路」を新規着手します。 (P 7) 【道路】

○ 主要地方道 糸満与那原線（糸満市山城～喜屋武工区）

糸満市南部海岸地域の戦跡・史跡等の各拠点施設間を相互に結び沖縄西海岸道路及び国道331号に連結することによりアクセス性・周遊性を高め、観光拠点の形成と地域の活性化を支援するため、「糸満与那原線（糸満市山城～喜屋武工区）」を新規に着手します。 (P 8) 【道路】

【継続事業】

● 代表的な継続事業（直轄事業）

- ・ 沖縄西海岸道路 那覇西道路 (P 9)
- ・ 沖縄西海岸道路 豊見城道路 (P 10)
- ・ 沖縄西海岸道路 糸満道路 (P 11)
- ・ 那覇空港自動車道 豊見城東道路 (P 12)
- ・ 一般国道58号 恩納バイパス (P 13)
- ・ 一般国道58号 恩納南バイパス (P 14)

● （補助事業）

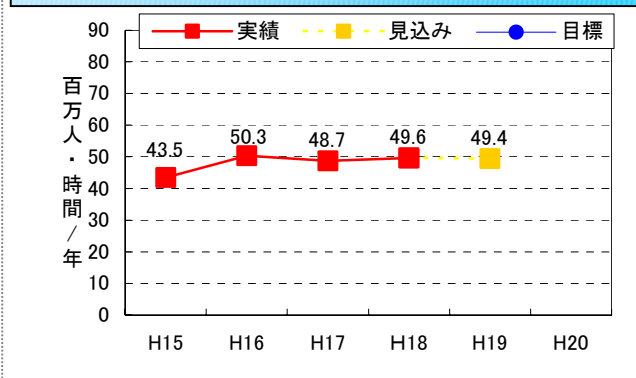
- ・ 主要地方道 那覇北中城線 (P 15)
- ・ 電線類地中化事業 平良・城辺線 (P 16)
- ・ 一般国道507号 津嘉山バイパス (P 17)
- ・ 平良下地島空港線 伊良部架橋 (P 18)
- ・ 都市計画道路 松山線 (P 19)

【成果（指標）】

【指標】		H15（実績）	H19（見込み）	H20（目標）
道路渋滞による損失時間	【渋滞モニタリング区間】	43.5百万人・時間／年	49.4百万人・時間／年	検討中

日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合	62.8 %	64.2%	検討中
道路上において行われる工事（路上工事）に伴う年間の交通規制時間	333 時間/km・年	147 時間/km・年	検討中
無電柱化整備率	42 %	67%	84%

「道路渋滞による損失時間」の経年変化



(注) 指標の達成状況に関する注釈

【 指 標 】	注 釈
道路渋滞による損失時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道以上全ての区間を対象とし、H19年度の目標値を検討したものの、毎年度の実績、目標値の解析は困難なため、渋滞モニタリング区間（県道以上の約12%）の区間を対象に、毎年度の実績、目標値のフォローアップを行う。 ・ H19（見込み）については、H19.11時点の見込値 ・ H20（目標値）は現在検討中
日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 那覇市、沖縄市、名護市まで30分以内に安全かつ快適に走行できる人の割合 ・ H19（見込み）については、H19.11時点の見込値 ・ H20（目標値）は現在検討中

『安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）』

【平成20年度の完成・供用、新規事業】

道路関連事業なし。

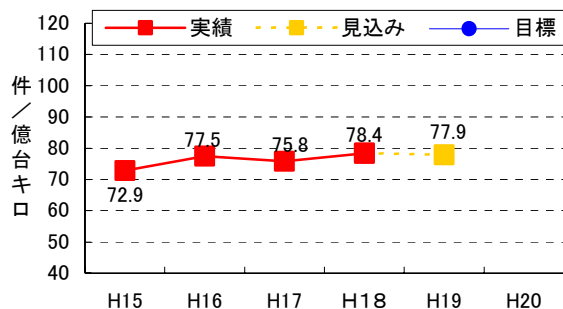
【継続事業】

- （補助事業）
 - ・電線類地中化事業 平良・城辺線〔再掲〕

【成果（指標）】

【指標】	H15（実績）	H19（見込み）	H20（目標）
沖縄本島における台風等による通行規制で孤立する人口	2,600人	約2,000人	約2,000人
道路交通における死傷事故率	72.9件／億台キロ	77.9件／億台キロ	検討中
規格の高い道路を使う割合	6.8%	7.6%	検討中
無電柱化整備率（再掲）	42%	67%	84%

「道路交通における死傷事故率」の経年変化



『沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）』

【平成20年度の完成・供用、新規事業】

【継続事業】

- 道路関連事業なし。

【成果（指標）】

【指標】	H15（実績）	H19（見込み）	H20（目標）
夜間騒音要請限度達成率	92%	100%	100%

『特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）』

【平成20年度の完成・供用、新規事業】

道路関連事業なし。

【継続事業】

● 代表的な継続事業（補助事業）

- ・ 電線類地中化事業（平良・城辺線）〔再掲〕
- ・ 西原西地区土地区画整理事業

（P 2 0）